

チャンネル

力による平和ではなく
対話による外交で平和を

生命を生み出す母親は 生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第71回日本母親大会実行委員会は、9月12日～13日に宮城県で母親大会を開催し、8200人が参加。八幡西民商婦人部7人と八幡民商婦人部1人、合計8人が9月12日の全体会にオンラインで参加しました。

開会宣言 主催者挨拶、来賓挨拶のあと、「新しい外交を切り拓く〜平和・人権・くらしが守られる社会を」と題して、弁護士猿田佐世さんより記念講演が行われました。

猿田さんは、「外交で平和を作



日本母親大会にオンラインで参加した皆さん

お知らせ

《無料法律相談》

10月14日(水) 18:30～

※事前予約が必要

《記帳相談会》

10月19日(月) 13:30～

20日(火) 13:30～

民商事務所 ☎ 641-2417

9月	行事・会議など日程	支部・専門部など
28 月		
29 火		月末集金
30 水	法人集団申告 11:00～	
10月	行事・会議など日程	支部・専門部など
1 木		
2 金	常任理事会 19:00～	
3 土		
4 日		
5 月	陣原支部役員会 18:00～	
6 火	婦人部役員会 13:30～	折尾支部役員会 19:00～
7 水		三ヶ森支部役員会 18:30～
8 木		
9 金		
10 土		
11 日	福商連共済会ディスコン大会 10:00～	宗像ユリックス
12 月	スポーツの日	
13 火	消費税廃止各界連学習会 18:00～	オンライン
14 水	無料法律相談 18:30～	15日集金
15 木		
16 金		上津役&香月支部役員会 10:30～
17 土		
18 日	税金研究集会オンライン	
19 月	記帳相談会 13:30～	
20 火		
21 水		
22 木		
23 金		
24 土		
25 日		全婦協第36回定期総会 大津市



全国の仲間とエール交換(福岡)

大勢アピールでは、「憲法改悪・大軍拡・大増税を許さず、いのちと暮らしを守り、平和でジェンダー平等の社会を切り開く決意と、明日からの歩みを前進させる展望を示す場となりました。憲法が生きる社会、誰もが自分らしく生きられるジェンダー平等社会の実現に向け、さらに運動を続けていきま

る、トランプの米国を踏まえて、日本は、軍事力強化か外交重視か。世界の欧州やASEANの様々な外交から、マルチトラック外交の制度化の重要性」を話します。そして、最後に「外交とは、長い年月をかけた多数の人々によるためめ努力の結晶である。」と締めくくられました。

カンパの訴え、休憩を経て、文化行事「仙台すずめ踊り」が六郷すずめつこより披露され、みんなで楽しみました。

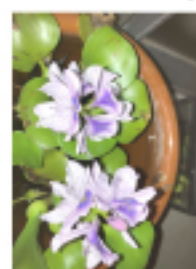
全員でエール交換し、今日の運動では、全国から集まった仲間が運動報告や訴えをしました。

最後に、「いま、わたしたちは」を全員で合唱し無事終了しました。



全国から集まり運動報告や訴えをした皆さん

今週のお花



陣原支部の松本自動車飯金さんちに咲くホテイアオイ(布袋葵)。花言葉は「揺れる心」「恋の悲しみ」「恋の楽しみ」「好意」。揺れる心は、水面に根を張らず、ゆらゆらと揺れながら浮かぶ姿に由来。恋の悲しみ・恋の楽しみは相反する意味を持つ言葉で、ヒヤシンスの神話(美少年ヒアキントスの悲劇)にちなんでつけられました。

第71回 日本母親大会 参加者感想

婦人部長 水元 博子

猿田さんの講演を受けて、朝日新聞「政治プラス」の記事「反中一色、夜明け待っただけでは」を読み返した。対抗一辺倒の行き着く先に何があるのか。牽制で得られる国益とは何か。それは国民にとって真の益なのか。

猿田さんの言われるマルチトラック外交で思い出したのは、北九州市と中国の大連市は、姉妹都市として友好関係を結んでいて、頼田貯水池には、中国の芸術家の銅像があります。政府間の外交だけでなく民間の顔が見える外交も戦争を起こさないために、重要なのだと思いました。

スマホで「マルチトラック外交」と検索すると、母親大会での講演の内容が出てきますよ。

三ヶ森支部 新居恭子

今回、オンラインで日本母親大会に参加して「中国は本当に日本にとって脅威なのか」ということについて考えさせられました。

日本では、中国の軍事力や台湾有事などが取り上げられ、中国を脅威として見る報道や議論が多いように感じます。私自身も、これまで中国に対して漠然とした不安を感じていました。

しかし、ASEANの国々やフィリピン、モンゴルなど中国と地理的にも経済的にも深い繋がりを持つ国々が必ずしも中国を脅威としてだけ捉えているわけではないという話を聞き、少し考え方が変わりました。

日本も「中国は脅威だから、対抗しなければならない」と決めつけるのではなく、もっと広い視野で中国との関係を考える必要があるのではないかと思います。

もちろん安全保障上の問題については慎重に考える必要があります。しかし対立を深めることだけが日本の安全につながることは限りません。それぞれの国と必要なことは話し合い、どちらか一方に頼るのではなく、日本自身が主体性を持った外交をしていくことが大切なのではないでしょうか。

東部支部 宮崎 晶子

猿田佐世さんの講演は、米国トランプ大統領の力に依る平和を許さず、対話を重ねる力に依らない平和と外交を目指す。

ベトナムの全方位外交、マルチトラック外交など初めて耳にしました。対話に依る外交の重要性を学びました。

折尾支部 大窪 明美

皆さんの的確な意見を聞いて勉強になりました。こういう講演の中継を議員の方や首相に見て貰えたらいいのになと思って感じました。

班・支部活動は民商運動の原点、新たな役員づくりに挑戦しよう！

～ 福商連主催 支部役員学習会 ～

福商連主催の支部役員学習会が9月13日、なみきスクエア（福岡市）で開催され、八幡西民商からは坂井会長、轟田理事、清水事務局長の3人が参加し、全商連の基本方向を学び、班・支部運営の土台となる役員づくりをどう広げかなど学習・交流しました。

田口会長の開会あいさつに始まり、吉原事務局長から「報告と問題提起」がされ、学習会の目的とし「全商連総会方針と基本方向に学び」、「集まって話し合う、活動の原点である班・支部の再建強化について打開策を話し合う」ことを中心に報告されました。

続いて、山下副会長から「民商全商連の基本報告」を各章ごとに詳しく説明されました。

午後からは5、6人に分かれて班会を行い、民商に入会された経緯、自身の民商の取り組みや悩みなどを出し合いました。「役員がいない支部は活動ができていない。」「親の仕事を継いで、そのまま民商の役員になった。」「会議が一方的にならないように工夫したいが、どうすれば良いか。」「役員の高齢化で、若い会員に呼びかけるがなかなか役員になってもらえない。」「30年前、40年前と時代が変わって、役員をつくるのも難しい。」「（役員になったきっかけは）税務調査で民商の仲間に助けられた。今度は私が助ける番と思い役員をやっている。」など役員成り立ての方から長い役員まで交流を行いました。

班会議の後は、班を代表しての報告、修了書授与、閉会のあいさつと続き、学習会を終えました。

八幡西民商でも会員の減少に歯止めをかけ、役員の充実を図ることが、喫緊の課題となっています。

民商は商売人の悩みに、みんなで寄り添い、相談して支え合う活動を原点にしています。そのためには、班・支部活動を充実させる必要があります。それを支える役員づくりが欠かせません。「みんなが集まるには？」「若い会員に民商を知ってもらうには？」など今後も工夫しながら、組織の強化、拡大を目指して行きたいと思います。

事務局長 清水



支部役員学習会 班・支部運営、再建について班に分かれて意見交換